

336億50万円

平成28年度予算総額

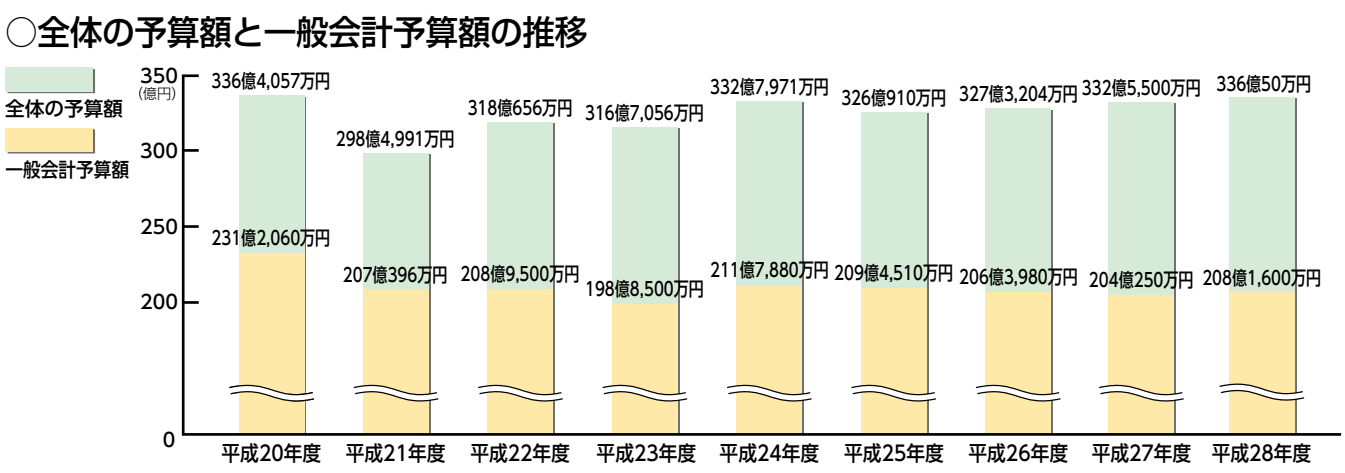
平成28年度予算は、第1次総合計画の必達及び若者定住促進と新しい自治のしくみの確立に積極果敢に取り組み、持続可能な行財政運営の確立に向け、事業の選択と集中による行政経営資源の再分配と歳入に見合った歳出の基本姿勢に立ち、精査を重ねた予算編成としました。

「第1次総合計画の必達」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略の具現化」、「行財政改革の強力かつ着実な実践」を重点とした予算を編成

平成28年度に取り組む主な事業として、魅力的な都市空間を目指すため亀山駅周辺整備事業や、関の山車会館整備事業に着手するとともに、教育環境の整備として川崎小学校改築事業などを実施していきます。また、全地区での地域まちづくり協議会設立に向け、地域コミュニティのしくみづくり支援事業を実施するほか、若者定住を促進する若者交流推進事業、5月に開催される伊勢志摩サミット推進事業、まち・ひと・しごと創生総合戦略の各事業を展開します。



- 特別会計は、特定の目的のための会計で、特定の収入があり、一般会計と区別して収入・支出を経理する会計です。
- ①国民健康保険事業 52億1,550万円(前年度比0.2%増)
 - ②後期高齢者医療事業 8億9,390万円(前年度比3.7%増)
 - ③農業集落排水事業 4億5,150万円(前年度比6.8%減)
- 企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営する会計です。
- ①水道事業 17億2,250万円(前年度比3.1%減)
 - ②工業用水道事業 8,270万円(前年度比7.2%減)
 - ③公共下水道事業 23億5,110万円(前年度比0.4%減)
 - ④病院事業 20億6,730万円(前年度比0.3%減)



一般会計を

大解剖

総額 208億1,600万円

一般会計とは、福祉や防災、道路、教育など市役所の基本的な仕事に関する収入と支出を管理する会計です。

